



# 米山奨学生から米山学友として社会活動

元米山奨学生 李 炫溱様

## 卓話者紹介

八木 壮一委員長

本来であれば小池先生が紹介者ですが、入院されていますので私が紹介します。今日で3回目の卓話で前回、研究の話をした時に難しいと言われましたので、今回は主に学友会の話をするそうです。

<略歴>2011年4月から2013年12月まで米山奨学生  
日本医科大学卒業後、日本医科大学ポストドクター  
2017年4月から現在まで(株)セラバリュース勤務  
2750地区学友会で活動中

米山奨学生は、将来、母国と日本との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としているプログラムであり、(1) 学業 (2) 異文化理解 (3) コミュニケーション能力を判定する面接を行い、米山奨学生が決定します。米山奨学生として面接を受けるためには、まず、学校代表として選ばれる必要があります。学校の教授会では提出された資料を基に代表者として相応しいか判断し、その後面接となります。面接は1:3の個人面接でしたが、面接に応募する人が増え、同じ国の出身者4名が与えられた主題で議論し、3名の面接官が採点します。その後、個人面接を行い決定します。かなり難関の奨学金であり、日本医科大学では私が初の奨学生だったと伺っております。

米山奨学生としての義務付けられていることは、①世話クラブの月1回例会参加 ②レポートの提出 ③スピーチなど可能な限り、お世話クラブの活動に参加すること、です。月1回の例会参加のほか、家族会やクリスマス会など、できるだけ参加致しました。それは、日本の文化を理解する良い機会だからです。今でも記憶に残るのは日系ブラジル人の子供達のために文字入りうちわを作成したことです。違う文化と言葉で苦勞する子供達を励まそうとする活動で、私自身が書道をするのが初めてで緊張致しましたが、大変貴重な経験が出来ました。



米山奨学生として在籍した3年間、お茶の水RCの皆様が社会活動をしていることを間近でみて、また、一緒に参加出来たことは私の人生の中で二度と経験出来ないことです。そして、米山奨学生が修了した後私も米山学友として社会活動しております。

米山学友会は学友(奨学期間を終了した元米山奨学生)と現役奨学生によって組織されている会であり、日本では33団体、海外には韓国・台湾・中国・タイ・ネパール・モンゴル・スリランカ・マレーシア・ミャンマーに学友会があり、奨学生修了後に米山学友として各国で活動できます。

学友会活動のきっかけは、米山奨学生時代、米山奨学生学友総会に参加した事で学友会の集まりと活動について知ることができ、元米山奨学生の勧誘がきっかけで参加するようになりました。

現在多く参加している学友会は、第2750地区学友会で、2016年に新設され、今年で3周年になる新しい会です。他地区の元米山奨学生も多く所属しており、様々な活動を行っております。

①温故知新ファッションモデル、②小平高校生との国際交流、③都市大学等々力高校クロスカルチャー講座、④新年会、などがあります。①温故知新ファッションショーは着物デザイナー矢作千鶴子氏のファッションショーで、着物の生地で各国の伝統衣装を披露するショーです。2017年度からは元米山奨学生がモデルになり、私もモデルとして参加しました。②、③は日本の高校生と国際交流活動です。出身国の話、留学の動機、留学生活、留学の苦勞話などをして交流を深める活動です。④2018年の新年会では、正月に食べる、中国の餃子・韓国のもちスープを作って食べました。その新年会は私が司会を致しました。

私は米山奨学生の時、お茶の水ロータリークラブで学んだ社会活動を、学友としてできるだけ参加しております。これからも、学友として社会活動を行うとともに、5年後にはお茶の水のロータリアンとして活動できるように努力致します。宜しく願いいたします。



閉会点鐘

奥山 聡会長

創立/1993年10月13日(平成5年)  
事務局/〒102-0073 東京都千代田区九段北1-2-2  
グランドメゾン九段906号 <http://tokyo-orc.jp/>  
Tel: 03-3288-7300 Fax: 03-3288-7400  
E-mail: ocha-rc@sirius.ocn.ne.jp

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30  
例会場 ホテルグランドパレス Tel: 03-3264-1111  
会長 奥山聡 幹事 山下憲男  
会報委員長: 高山 副委員長: 小田  
委員: 青木 岩佐 笠原 俣野 岡田 岩佐